

## 第 2 回 SOSTAP 関西月例会議事録

日 時 : 2016 年 6 月 10 日 13:00~17:30  
場 所 : IDEC 株式会社 本社ホール A  
出席者 : 7 名 (法人会員 : 4 名 個人会員 : 3 名)

### 1. 報告事項

第 278 回東京月例会 (2016/5/27) で実施した研究報告内容について、情報共有化のため東京本部の企画運営委員会の内沼様より説明があり、決定事項等を共有化した。

- 1) 「Advanced Design へのアプローチ –機械の「本質的安全設計」についての考え方–」
  - ・資料 278-2-1「Advanced Design へのアプローチ」に基づき、まず石原様より東京月例会で報告した内容を再説明後、内沼様から東京月例会での反響について説明があった。
  - ・東京月例会の出席者には Advanced Design の考え方は理解して頂いた。
  - ・資料をブラッシュアップして、外部にも関心を持って貰えるように公知すべきではないか。
  - ・本質安全設計について大掴みは理解するが、具体的に進めるとなればエンジニアでも難しい。
  - ・「本質安全化」という言葉は、3 STEP Method 第 1 段階の本質的安全設計の用語とは異なる意味で使用されてきた経緯があり、誤解されやすいので使用しない方向で見直した方が良い。
  - ・Advanced Design の第 1 段階は、設計フェーズの「要求仕様の決定」「構想(概念)設計」から始まり、ISO 12100 のリスクアセスメント(RA) のフロー図の上流に位置するものと思われる。

#### 【討議結果】

- ・Advanced Design の考え方 (第 1 段階、第 2 段階にわける) は OK。
  - ・第 1 段階は、ISO 12000 の RA のフローの中に入れるのではなく、その上流の段階に入れるよう、フロー図を考え直す。その際、ISO 10218 Part2 (JIS B 8433) : 産業用ロボット規格では、RA の前にレイアウト設計のフェーズがある。それを参考にしてフロー図を検討する。
  - ・「本質安全化」の言葉の定義を変える。例えば、「危険源を排除」
  - ・Advanced Design という言葉は幅広く解釈されるので、例えば Advanced Safety Design にする。
  - ・関西委員会では、災害事例のテキスト改訂を止めて、「Advanced Design へのアプローチ」のブラッシュアップに注力し、早く第 3 者にも公知できるようにする。
  - ・6/18 の関西委員会に福田会長、畑事務局長も来られるので、そこで最終結論を出す。
- 2) 第 1 回企画運営委員会の説明 : 内沼様
    - ・企画委員会委員の内沼様の自己紹介 (経歴の紹介)
    - ・第 1 回企画運営委員会議事録 (資料 278-0) に基づき、内沼様から説明・フォローしていただいた。
    - ・当面、月例会では 1 時間程、会員から要望をだしてもらうことを行っている。
    - ・技術交流会は本年度実施しない。会員以外の優秀な企業 (例えば食品機械メーカー) についての見学も企画する。
  - 3) IEC60204-1:ed.5⇒ed.6 (FDIS) 主要変更点についての説明 : 内沼様
    - 資料 278-1-1「IEC60204-1:ed.5⇒ed.6 (FDIS) 主要変更点と各国個別適用規定概要」に基づき、

内沼様から説明があった。

- 4) 第 278 回月例会議事録について内沼様から説明があった。
- 5) 関西紹介チラシ（資料 278-1-3）について：石原様より紹介があった。
  - ・関西と同様、東京本部でも作ったらどうか。
  - ・関西紹介チラシは東京本部で一括して印刷し、関西に配布してもらいたい。【要依頼】
  - ・関西紹介チラシは講習会・講演会等で、参加者に配布する。
  - ・関西月例会へのオブザーバ（SOSTAP 会員以外）の参加のルールを設定する。
  - ・法人会員へのチラシの紹介は、法人会員の窓口がわからないので SOSTAP 事務局から呼びかけていただきたい。【要依頼】
  - ・会員数の拡大施策の一環で、個人会員資格のハードルを下げ、個人会員を広く集める。
  - ・関西紹介チラシの修正版を検討したので、本議事録に添付する。（添付資料 関西 2-1）

#### 配布資料 5 部

- 資料 278-2-1 「Advanced Design へのアプローチ」  
ー機械の「本質的安全設計」についての考え方ー
- 資料 278-0 安全技術応用研究会 第 1 回企画運営委員会議事録
- 資料 278-1-1 「IEC60204-1：ed.5⇒ed.6（FDIS）主要変更点と各国個別適用規定概要」
- 資料 第 278 回月例会議事録
- 資料 278-1-3 「関西月例会、関西委員会のご案内」

## 2. 審議・討議事項

関西月例会の規模拡大に向けて、現時点にて取り決めをしておきたい事項について討議をした。  
討議結果を踏まえて、畑事務局長および企画運営委員会に協議・許可依頼をしていく。

- 1) SOSTAP 新 HP の紹介、および関西月例会の情報公開について
  - ・新 HP の紹介が東京月例会でも実施されたので関西月例会でも紹介し、その HP 上での関西月例会、関西委員会についてどう紹介していくかを討議した。
  - ・関西月例会の参加メンバーは全員新 HP を見ており、一部不具合があることも認知している。
  - ・月例会日程をクリックすれば、その議事録が表示される等、一般の方が入りやすい工夫が必要。
  - ・関西月例会の紹介のチラシを HP のどこにリンクするのか、またチラシを見て問合せがあった時の対応をどうすればいいか現時点では分らない。
  - ・議事録等を HP に掲載する場合は、会社名や個人名の記載は避けた方が良いと思う（意見）

【討議結果】

  - ・関西月例会委員がメール等で案を提示し纏めて、事務局の大木様にメールを送る（1 週間目途）  
例えば、専用紹介コーナーを作る、メンバー構成を公開する、関西専用メールアドレスを設ける、  
関西月例会の日程をクリックすれば予定／議事録が表示される 等
- 2) 関西月例会独自の討議テーマについて
  - ・関西月例会の参加メンバーを増やしていくことを考えると、東京月例会と同じ討議テーマを実施するだけでなく独自の討議テーマを設定する必要があるのではないか？

【討議結果】

- ・時間切れの面もあり関西月例会委員が、①困りごと、②最新法規制・規格情報、③他団体の動向、④新製品紹介 等をメールで提示する。
  - ・次回テーマ、中期的なテーマについてはそれを参考にして決める。(1～2週間以内)
- 3) 関西月例会の開催案内状について
- 現在、安井様より関係者へ配信しているが、今後東京月例会と同様事務局に一任し、全体配信してもらうことにする。
- ・畑事務局長からは、『7月月例会から案内案を関西月例会終了後1～2週間で作成頂き、安応研事務局で確認後、安応研事務局から全会員に案内を出す』という提案をいただいている。関西月例会としてこの方向で了承した。
- 4) 関西月例会の議事録の公開について
- ・関西月例会の司会は委員長（安井様）、委員長不在時は副委員長（田部井様）とする。議事録は東京と同様、副委員長が作成、副委員長不在時はその他の委員が持ち回りで作成する。
  - ・議事録は関西月例会委員で最終版を作成し、畑事務局長経由で事務局からHPに掲載する。
  - ・事務局に依頼する際に、「いつまでに掲載してほしいのか」を付記する。
  - ・次回の関西月例会の案内は、畑事務局長経由で事務局から発行する。
  - ・議事録は会議終了後、2週間以内に作成し事務局に送る。(東京月例会に報告できるよう)
- 5) 現在使用している関西専用データ共有サーバについて
- ・現在、関西専用のデータ共有サーバは、IDEC様にて費用負担していただいている。
  - ・本件については、東京の各委員会とも共通のテーマなので、企画運営委員会で検討してもらう。

### 3. その他

#### 1) 関西月例会配付・発表資料

資料番号	資料名
278-0	安全技術応用研究会 第1回企画運営委員会議事録
278-1-1	EC60204-1 : ed.5⇒ed.6 (FDIS) 主要変更点と各国個別適用規定概要
278-1-3	関西月例会、関西委員会のご案内
278-2-1	Advanced Design へのアプローチ ー機械の「本質的安全設計」についての考え方ー
278-3-1	安全技術応用研究会へのユーザ及びメーカー側のニーズについて
	第278回月例会議事録

#### 2) 添付資料

資料番号	資料名
関西 2-1	関西紹介チラシ

#### 3) 次回月例会の開催予定

- ・ 東京：6月28日（火）10:00～ 大井町
- ・ 大阪：7月08日（金）13:00～ IDEC 本社

以上